

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和4年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
千歳市	病院事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

近年の当院の経営状況については、「市立千歳市民病院改革プラン」(H21～H24)の着実な実行により、平成22年度から平成25年度まで4年連続での黒字決算を達成している。平成26年度に行われた会計制度改革の影響等もあり、平成26年度から平成29年度まで赤字決算となったものの、「中期経営計画〔改訂版〕(H26～R2)」で策定した取組を着実に実施することにより、平成30年度には5年ぶりの黒字決算を実現している。令和元年度及び令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、赤字決算となったものの、令和3年度には再び黒字決算を実現したことから、現時点においては、現行の経営体制と手法を継続することとしている。

今後の経営改革の方向性については、「札幌圏域地域医療構想調整会議」による議論等により、当院の地域における役割がさらに明確になるものと考えられるが、国や道がリーダーシップを発揮し政策が具体化されることで、地域ニーズに沿った医療資源が投入され、医師不足・偏在等が解消されることが想定されることから、当院としても国や道の政策に基づき、診療報酬改定に適切に対応しながら、医療の質・医療サービスの向上と経営の健全化・黒字化に取り組んでいるところである。

加えて、令和4年3月に総務省にて策定された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、当院での経営強化プランを策定中であり、これに基づきさらなる経営強化に取り組んでいく。